



社会福祉法人 輪島市福祉会

〒929-2378 石川県輪島市三井町小泉上野 2 番地

訪問介護、訪問入浴介護、短期入所、居宅介護支援、介護老人福祉施設

認知症対応型通所介護、配食サービス、在宅介護支援センター、日常生活支援総合事業

■ 全国老人福祉施設協議会 大山知子会長 来園



大山知子会長

2024/7月

能登半島地震により被災した老人福祉施設の実態を把握するため 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 大山知子会長が来園されました。(石川県内に3日間滞在し県内の被害状況を把握していかれました)施設見学中には大山会長が優しく職員一人ひとりに声掛けをされ、励まされていかれました。全国からの支援により事業継続にしっかりと取り組みます。

■ 地元高校生の会社見学

2024/10/18

(福祉の職場見学)

石川県立門前高等学校2年生キャリアコース13名が地元企業3企業の訪問をしました。

企業の内容説明を受け、企業見学、生徒からの質疑に対して責任者が答えました。

福祉の仕事に興味を持ってもらえればありがたいです。

(輪島市漆器商工課からの依頼により実現し、地元高校生の会社見学への思い)

高校生が地元企業を知ることにより、ふるさと就職・定住、企業の人材確保に繋がり、復興への大きな力になると考えています。



真剣に企業の説明を聞く門前高校生徒の皆さん

■ 浄瑠璃姫の物語、マジック、トリックアート(目の錯覚) 中野明さん(マジックボランティア)(愛知県)



2024/10/24

～愛知県岡崎市に伝わる 浄瑠璃姫の物語を語る～
承安4年(1177)、牛若丸は、奥州平泉の藤原秀衡を頼って旅を続ける途中、矢作の里を訪れ兼高長者の家に宿をとりました。ある日、心と静かに聞こえてきた浄瑠璃姫の琴の音色にひかれた義経が、持っていた笛で吹き合わせたことから、いつしか二人の間に愛が芽生えました。しかし、義経は奥州へ旅立たねばならず、矢作を去りました。姫が義経を想う心は毎日に募るばかりでしたが、添うに添われぬ恋に、ついに菅生川に身を投じて短い人生を終えました。

～マジックショー～

紐やハンカチ、トランプを使ったマジックを披露

～トリックアート～

目の錯覚を利用したトリックアートの紹介

中野明さんは、愛知県岡崎市からボランティアとして、自家用車を運転して能登の被災地を回っているそうです。宿泊は車中泊をしながらの活動で健康が心配です。健康に気をつけながら人を和ませるマジックショー、トリックアートの活動を続けてください。また、来てもらえるようお待ちしております。

■ 災害支援ナースの受入れ

2024/10/8～14

■奥能登豪雨で 8 日から災害支援ナースが派遣されました。8 日から14日にかけて2チームの4名の看護職員が特別養護老人ホームの支援に入りました。

■奥能登豪雨で自宅が被災し数名の職員が長期休暇をとっているため災害支援ナースは大変助かりました。令和6年能登半島地震により入居者全員2次避難をしたあての木園では初めての外部からの専門職の支援受入れでした。事業継続のため今後も専門職の支援を受けていく必要があることを認識しました。

■ご支援頂いた皆さん今後ともよろしく願いいたします。

■ DWAT(災害時派遣福祉チーム)の受入れ

災害が発生した際に介護等を要する高齢者や障がい者を有する方のニーズに的確に対応し避難生活中における生活機能等の防止を図ることを目的に、各都道府県が主体となって一般避難所で福祉的な支援を行う「災害時派遣福祉チーム」を「DWAT:ディーワット」(Disaster Welfare Assistance Team)と呼びます。

2024/11/4～29

■令和6年11月より、DWAT(災害時派遣福祉チーム)が応援に来てもらえることになりました。石川県老人福祉施設協議会の調整により栃木県、宮城県、福島県の老人福祉施設協議会及び石川県老人福祉施設協議会から11名の専門職が派遣されます。

■大震災・豪雨の被害を受けた地域への派遣に対して大変感謝しております。

■どうぞよろしくお願いいたします。

■ 災害 NGO 結 からの支援



2024/4～6月

■大地震発生後から、入浴支援で「災害 NGO 結」さんから訪問入浴車をお借りして、デイサービスの入浴サービスを実施しておりました。

■訪問入浴車の灯油ボイラーでお湯を沸かし、デイサービスの浴槽にお湯をはり、利用者に入浴してもらいました。デイサービスのヒートポンプ式給湯器の使用ができるようになり、訪問入浴車の使用は必要なくなりましたが、約2ヶ月間使用させていただきありがとうございました。

2024/11月

■DWAT 受入れ時に必要な備品等の提供について度重なる支援をいただきありがとうございます。

支援をいただき事業を継続していきます

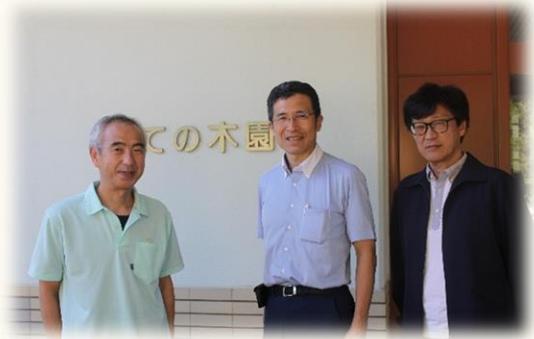
■ 視察の受入れ

2024/8～9月

■参議院議員 新妻ひでき氏(愛知県)、衆議院議員中川宏昌氏(長野県)、石川県議会議員 谷内律夫氏(金沢市)、能登町議会議員 田端雄市氏(能登町)、金沢市議会議員 稲端明浩氏、山本ひかる氏(金沢市)が能登半島地震により被害を受けた福祉施設の視察に来園されました。(珠洲市、能登町、穴水町、輪島市の2市2町)

■被災状況の確認、復興状況の確認、復興への要望等について意見交換を行いました。

■復興への支援をお願いいたします。



■ 不在者投票



2024/10/23

■第 50 回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査についての不在者投票が行われました。

■混乱もなくスムーズに行うことができました。

■ 奥能登豪雨による被害

■奥能登豪雨により山本町にある「GH ひなたぼっこ」が土砂災害のため運営することが難しくなりました。

■そのため、三井町にある「あての木園」に一時的に避難をしています。

■避難期間はわかりませんが、「GH ひなたぼっこ」の入居者の方に安心して生活できるように協力していきたいと思っています。

■大地震と洪水による被害を「ひなたぼっこ」「あての木園」力を合わせて乗り越えていきたいと考えています。

介護士として、生きていく 石川県社会福祉協議会 <http://www.kaigoshitoshite.com> より

笑顔も、涙も、自分らしく やりがいでいいじゃない介護の仕事を

介護の仕事は今後、もっともっと社会から必要とされていきます。

若くても年齢を重ねてもできる。いつでも始められる。

洋服の販売も飲食店の店員も、企業の受付もうまくいかず、転職を繰り返していたとしても。

ようやく自分の居場所を見つけた、そう話す人も多い。

職場の中だけでも学びは多いし、もっと広い視野に立って多くのことを学ぶこともできる。

介護の仕事は自由です。

いつかは誰もが必ず関わることになるんです。

ちょっとユニークな人がいても良いんじゃないでしょうか？

そういませんか？

介護士として
生きていく。



社会福祉法人
石川県社会福祉協議会



社会福祉法人 輪島市福祉会
〒929-2378 石川県輪島市三井町小泉上野2番地
電話番号 0768-26-1661
FAX 番号 0768-26-1751
メール atenoki@skyblue.ocn.ne.jp
Hp <http://www.amusewajima.gr.jp/atenokien/>

